**第２次玉名市男女共同参画事業計画（平成２５年度～平成２９年度）**

**平成２６年度実施状況報告**

この報告には、玉名市男女共同参画計画に関する施策の中から、主な事業を抜粋して掲載しております。

**重点目標Ⅰ･･･　男女共同参画の意識づくり**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **施策の基本方向** | **主要施策** | **具体的な取り組み** | **平成２６年度の実施状況** | **担当課** |
| **１　男女の人権の尊重** | **（１）人権尊重の理解と認識** | 人権意識を高めるための教育や啓発の推進 | 平成26年8月16日（土）に玉名市民会館及び九州看護福祉大学において人権教育研究大会を開催。玉名市の小、中、高等学校教職員と保護者等550人の参加があり、充実した内容で好評であった。人権意識の高揚を図ると同時に指導方法等の在り方について研修を深めることができた。PTAを中心とした家庭教育の講演は 玉名町小、大浜小、横島小、滑石小校区で実施し全体で述べ832人の参加があった。 | 教育総務課  生涯学習課  H26 |
| 平成26年11月10日（月）に玉名町小、豊水小、伊倉小、鍋小、横島小、岱明中の6校において､人権問題等を使った授業実践による交流を行った。約400名の教職員が参加し、指導方法等の在り方について研修を深めることができた。 | 教育総務課  H26 |
| 「人権の花運動」を通して花の世話に関わる中で、高学年の児童が低学年の児童の手助けをするなど経験し、小学生が助け合いの大切さを実感していた。風船で飛ばした種を拾ったという手紙や電話が大分県から届き、子どもたちが大変喜んでいた。  平成26年度は梅林小学校で実施。 | 人権啓発課  H26 |
| 横島地区で初めて男女共同参画フォーラムを実施。これまで男性中心だった防災分野における男女共同参画の推進をテーマとしたため、これまでとは違う層への啓発が行えた。 | 人権啓発課  H26 |
| 身近な問題でありながら、これまであまり触れていなかった「防災と男女共同参画」や「マタニティハラスメント」、「ダイバーシティ」、「DVの男性被害者」等の視点を入れて、広報誌へ掲載した。 |
| 男女共同参画の視点による人権を守る環境づくり | 7月1日から7月31日の期間に、チラシ配布や車両による広報活動を行い、街頭啓発を実施した。 | 生涯学習課 Ｈ26 |
| **（２）あらゆる暴力の根絶** | セクシュアル・ハラスメントの防止対策と啓発 | 学校においては、｢不祥事防止年間研修計画｣を立て、年間を通じてボトムアップ形式の研修を行っており、教職員のセクシャルハラスメント及びパワーハラスメント防止についての認識は高まってきている。また、諸会議等（校長会議等）においても、玉名市教育委員会作成の「不祥事の根絶に向けて」をもとに指導を行っており、その結果、ハラスメント防止の意識は着実に浸透していっている。 | 教育総務課  H26 |
| 管理・監督職を対象としたメンタルヘルスケアのライン研修の中で、ハラスメントについての研修を行った。 | 人事課  H26 |
| 男女共同参画啓発講座の中で、セクシュアル・ハラスメントについての話題を取り入れて啓発を行った。 | 人権啓発課  H26 |
| 「あらゆる暴力」を許さない意識づくり | ・広報に年1回、市ホームページに常時掲載して相談を受付けている。  ・民生委員、県女性センターや関係課と随時連携をとり、ケース会議を実施している。 | 子育て支援課  Ｈ26 |
| 男女共同参画フォーラムにおいて災害時におけるDV防止の取り組みが重要であることを啓発した。 | 人権啓発課  H26 |
| 子ども・高齢者などの弱者に対する虐待防止に向けた取り組みの推進 | 児童や生徒への対応について話し合う年間3回実施の教育相談員等連絡会議（家庭児童相談員･適応指導教室指導員及び玉名市教育相談員対象）において、様々な事例についても協議し、認識を深めることができた。  また、子育て支援課の家庭児童相談員と連携をとり、適切に対応することができた。事案によっては教育事務所のＳＳＷやＳＣ、県児童相談所とも連携し対応した。 | 教育総務課  H26 |
| ・玉名市要保護児童対策及びＤＶ防止対策等地域協議会：1回  ・児童虐待に関する学習会：年2回  ・児童虐待の相談…実人員70人、延べ件数206件  ・家庭児童相談・・・ケース検討会議87回  ・DV来所相談・・・　実人員25人、延べ件数54件  ・ケース会議6回 | 子育て支援課  Ｈ26 |
| 虐待対応マニュアルに基づき、早期対応を課内及び地域ケア会議等での実施に努めており、効果的かつ効率的な問題解決を指針として、連携を図っている。 | 高齢介護課  H26 |
| こんにちは赤ちゃん事業（保健師・助産師・母子保健推進員の家庭訪問）および乳幼児訪問・乳幼児健診等をとおして気になる家庭や虐待の早期発見に努めた。虐待等が疑われるケースについては、関係機関とケース会議を重ねながら連携して支援を行った。 | 保健予防課  H26 |
| 巡回相談は毎回広報たまなやホームページで広報している。原則、予約制にしたことで事前に相談内容が把握できるようになり、より深く時間をかけて対応できるようになった。 | 総合福祉課  Ｈ26 |
| 被害者に配慮した相談体制の充実 | 養育費や生活困窮者の相談などの研修会に参加し、研鑽して相談体制の充実を図っている。 | 子育て支援課  H26 |
| 乳幼児健診や家庭訪問等を通して、対象者との信頼関係を築きながら相談者の話を傾聴し、気軽に相談できる体制づくりに努め、相談技術のスキルアップのための研修会や生活安心ネットワーク委員会等へ職員が交代で参加した。 | 保健予防課  H26 |
| ・毎月2回、課と包括の会議を開き連携強化を図った。  ・県等主催の研修会への参加や介護サービス事業所職員に対する研修会を開催した。 | 高齢介護課  H26 |
| 相談支援事業所と協力しながら、当事者や家族の相談等に対応し、アドバイスやサービスの紹介等の支援を実施した。 | 総合福祉課  Ｈ26 |
| 2ヶ月に1回「生活安心ネットワーク会議」を開催し困難事例対応等の研修を行い相談員・職員の資質の向上を図った。（実施月は5月、7月、9月、11月、2月） | 生活安全課  H26 |
| 生活安全課や子育て支援課等と連携し、各種人権の観点から他課の相談へ協力した。 | 人権啓発課  H26 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **施策の基本方向** | **主要施策** | **具体的な取り組み** | **平成２６年度の実施状況** | **担当課** |
| **２　男女共同参画の視点に立った教育・保育・学習の推進** | **（１）家庭・地域社会における男女共同参画の意識づくり** | 固定的性別役割分担意識の改革と慣行の見直し | 男性の育児休業取得の意識づけや、DVの被害にあう男性が増加していることなど、社会情勢の変化を加味し、男性にとっての男女共同参画の必要性を含ませた記事を広報に掲載した。 | 人権啓発課  H26 |
| 家庭教育・社会教育における学習機会の充実 | 九州看護福祉大学の大学生向けに、男女共同参画の視点から「性的少数者の人権」についての出前講座を開催した。 | 人権啓発課  H26 |
| 九州看護福祉大学と共催で市民向けの公開講座の5回分を共催とし、各講座30名程度の参加があった。講座時に男女共同参画計画の概要版を配布し、ジェンダーの視点があることをアピールした。  延べ参加人数150名 |
| 男女共同参画週間にちなんで図書館に設置した特設コーナーで、どのような書籍が借りられているかの傾向を図書館の協力で調査した。 |
| 各館の特設コーナー「男女共同参画特集」を設置し、啓発を行ったことにより、利用も増えた。  また、広報の新刊案内にて掲載したことにより周知が図られた。 | 生涯学習課  H26 |
| **（２）就学前・学校教育における男女共同参画の意識づくり** | 子どもの発達段階に応じた男女平等教育の推進 | 小学校においては、男女混合名簿を公簿として使用している他、小学校及び中学校ともに、男女平等･人権尊重の視点に立った教育活動を日々展開しており、児童生徒の男女共同参画意識は高まっている。 | 教育総務課  H26 |
| 小学校、中学校ともに、年間指導計画を立て、キャリア教育を系統的に展開している。特に中学2年生時の職業体験学習をはじめとした進路に関する学習の充実を図るなど､個に応じた進路選択、生き方選択ができるように指導を行った。 |
| 教職員や保育士などへの研修の充実 | 男性保育士の職場環境についても、適宜園長会で取り上げ改善するよう努めている。 | 子育て支援課  H26 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **施策の基本方向** | **主要施策** | **具体的な取り組み** | **平成２６年度の実施状況** | **担当課** |
| **３　男女共同参画啓発活動の充実** | **（１）広報・啓発活動の充実** | 市の広報紙などを活用した啓発の充実 | 多様な視点から男女共同参画の啓発を実施し、多様化・複雑化する人権課題を「見える化」するよう心がけた。 | 人権啓発課  H26 |
| カタカナの用語や日頃聞き慣れないジェンダー関連の用語については、具体的な例を挙げつつ分かりやすいように周知を行った。 |
| 講演会や講座などの開催 | ・「ありのままに、自分らしく」これからの人生の見つけ方講座は、定員を超える申込があり、受講者の満足度が高かった。その中に多様な男女共同参画の視点を取り入れ、多くの気づきを促した。  ・総務課と連携し、防災分野における男女共同参画の推進を目的に男女共同参画フォーラムを開催した。 | 人権啓発課  H26 |
| 男女共同参画に関する調査の実施と情報の収集や提供 | 広報誌とホームページに、毎月「男女共同参画社会をめざして」の記事を連載した。平成26年度は12回掲載。 | 人権啓発課  H26 |
| 市役所内では、専門部会を通して職員への男女共同参画の意識の底上げを図り、女性委員登用の必要性やワーク・ライフ・バランス、男性の育児休業について考える機会を設けた。 |
| 平成25年度に実施した「イクメン講座」と「ボディートーク講座」の効果検証を実施。講座受講後にどのような変化があったかなどを調査した。あわせて男女共同参画関連用語の認知度も尋ねた。 |

**重点目標Ⅱ･･･　男女共同参画の環境づくり**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **施策の基本方向** | **主要施策** | **具体的な取り組み** | **平成２６年度の実施状況** | **担当課** |
| **１ 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大** | **（１）政策・方針決定過程への女性の参画促進** | 市における審議会等への女性委員の登用目標設定及び進捗状況調査の実施 | 庁内全体へ女性委員登用推進の呼びかけを副市長名で10月と3月に行った。委員会等の女性委員登用を推進しなければならないという意識は庁内全体で高まりつつあるが、実際にどのような工夫をすれば女性が登用できるかまでは浸透していない。  そのため、「一方の性が4割を下回らない」という男女平等の原則に基づき、女性委員の登用がしやすい委員会等へは女性委員50～60％の登用を図り、全体の登用率向上のための意識づくりを進めた。 | 人権啓発課  H26 |
| 管理職や地域活動等の指導的立場への積極的な女性の登用 | 女性役員4名は、夜間に開催される役員会等、忙しい時間帯でありながら、農作業、家事をうまく時間配分しながら、会合等に欠席することなく参加された。役員としての思い、行動が徐々に家族の理解につながっている結果ではないかと思われる。 | 農林水産政策課  H26 |
| 「玉名市女性人材リスト」の整備と積極的活用 | 「都市計画審議会」及び「都市再生整備計画事業評価委員会」の委員選任の際に、女性人材リストを活用し、委員を選任した。 | 建設課  H26 |
| 幅広い人材の登録を進めていく必要があり、男女共同参画啓発講座の受講者等へ今後呼びかけなどを行い、人材発掘に努める。 | 人権啓発課  H26 |
| サッカー場建設検討委員会には、玉名市女性人材リスト登録者より委員の人選を行った。 | 生涯学習課  H26 |
| 市における委員選定の際の男女共同参画担当課との協議と公募制の導入 | 部長級職員の行政推進委員会と、一般職員の専門部会で女性登用について周知を図った。 | 人権啓発課  H26 |
| H26年度改選委員の図書館協議会では、10名中6名の女性の登用ができ、率にして60％であった。来年度改選を迎える審議会等についても、考慮しながら人選を図る。 | 生涯学習課  H26 |
| **（２）女性のエンパワーメントの支援** | 女性の能力開発と能力発揮のための支援 | 広報誌・ホームページの連載で、女性や高齢者・外国人・性的少数者など多様な人材の活用する視点から地域力を高める必要性を訴えた。 | 人権啓発課  H26 |
| 女性の意見が施策・方針の決定に十分生かされている。今後の後進の育成は現女性委員とともに進めていく。 | 農林水産政策課  H26 |
| 講座などにおける託児の実施 | 託児の利用が増えている。  26年度実績（延べ人数）  利用人数121人　、託児スタッフ人数49人 | 人権啓発課  H26 |
| 離乳食教室、食育フェアに安心して参加してもらえるようヘルスメイトの協力や人権啓発課託児スタッフを派遣依頼し、託児を実施した。  託児利用・・・離乳食教室　30組、食育フェア　5組 | 保健予防課  Ｈ26 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **施策の基本方向** | **主要施策** | **具体的な取り組み** | **平成２６年度の実施状況** | **担当課** |
| **２ ワーク・ライフ・バランスを実現するための環境づくり** | **（１）働く場での男女共同参画の推進** | 働く場での男女平等に向けた啓発活動の推進 | 広報誌・ホームページの連載記事で、ワーク・ライフ・バランスの視点から仕事と子育ての両立に関する啓発を行った。 | 人権啓発課  H26 |
| 農林水産業・商工業など自営業における男女のパートナーシップの推進 | 平成26年度の家族経営協定締結の実績は31戸で合計517戸が締結している。結果として平成29年度の最終目標を上回った。 | 農林水産政策課  H26 |
| **（２）仕事と家庭生活の両立支援** | 仕事と子育て・介護が両立できる環境づくり | 広報誌・ホームページの連載記事で、ワーク・ライフ・バランスの視点から仕事と子育ての両立に関する啓発を行った。 | 人権啓発課  H26 |
| 2月末現在、6拠点での延利用者数：30,286人  病児病後児保育施設利用者数：475人（2月末）  ファミリーサポートセンター利用件数：982件(2月末)  ・延長保育を16カ所で実施。平均対象児童見込数：239 人  ・一時預かりを6カ所で実施。延べ利用児童数：5650人（3月迄の年間見込）  ・放課後児童健全育成事業12クラブ利用児童数：443人（平成26年12月現在） | 子育て支援課  H26 |
| 介護予防事業(2月現在)  ・いきいきふれあい活動　94ヶ所  ・ゆたっ～と元気体操　77ヶ所  ・生活管理指導員派遣事業　277回  ・ふれあい生活支援事業　　　92回  ・食の自立支援事業　　4,091回  ・家族介護慰労事業　8件  ・外出支援サービス事業　　2,565　回  ・高齢者住宅改造助成事業　2件  ・緊急通報装置整備事業　　 1件 | 高齢介護課  H26 |
| ・母子手帳交付時に父親を対象としたパパ手帳を交付し学級を通して妊婦の健康管理や精神的支援の大切さを感じてもらい、子育てのイメージをつけてもらうことで、父親としての意識を高めてもらうように啓発を行っている。当日、父親が参加できなかった場合は、父親へ渡してもらう。  ・子育てネットワークで実施されているプレパパ・プレママ学級への参加勧奨を行った。 | 保健予防課  Ｈ26 |
| 男性、子どもにとっての男女共同参画の推進 | 中高年層対象の講座に男性の参加者があった。まだ男性の参加者は少ないが、潜在的なニーズがあり少しずつ浸透しつつある。 | 人権啓発課  H26 |
| 「男性の料理教室」をしている、「たまな元気会」や男性を中心とした「むしゃもん塾」等を紹介した。 | 高齢介護課  H26 |
|  |  | | | |
| **施策の基本方向** | **主要施策** | **具体的な取り組み** | **平成２６年度の実施状況** | **担当課** |
| **３　あらゆる分野における男女共同参画の推進** | **（１）地域社会における男女共同参画の推進** | 地域社会での男女平等と社会参画の推進 | 「ダイバーシティと地域力」という視点で、多様な個性を持つ男女がその潜在的な力を発揮できるような社会の必要性を、広報誌とホームページで発信した。 | 人権啓発課  H26 |
| **（２）国際的理解の推進** | 国際理解のための学習機会などの充実 | 広報誌・ホームページの連載で、他の先進国における男性の育児休業取得率の高さや、海外でのダイバーシティを活かした企業経営などの周知を行った。 | 人権啓発課  H26 |

**重点目標Ⅲ･･･　男女がともに自立し、豊かで安心して暮らせる社会づくり**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **施策の基本方向** | **主要施策** | **具体的な取り組み** | **平成２６年度の実施状況** | **担当課** |
| **１ 生涯を通じた健康づくりの支援** | **（１）心身の健康づくり支援の充実** | 各種健診事業などの充実と受診率向上 | ・妊婦健診14回分の健診費用や里帰り先での受診費用の助成を行った。14回の妊婦券でほぼ妊婦健診費用をカバーしている。  ・前立腺がん検診の実績　1,361人 | 保健予防課  Ｈ26 |
| 食育・健康教育・相談事業の充実 | ・連携会議1回、実行委員会8回の開催。元気野菜づくりの活動は、市民と協働で取り組み、土づくりの学習会や試食会も行った。  ・食育フェアでは、吉田俊道氏の講演会をはじめ、にんじんジュースの試飲コーナー、関係団体等のコーナーを設置、1,800人の参加があった。  ・12月から1月にかけて市民約2700人を対象に食育調査を実施した。 | 保健予防課  Ｈ26 |
| 心血管疾患に繋がる可能性の高い対象者の推移　　　　　　　　　　　　　＊Ⅱ度高血圧以上（Ｈ22　7.9%→Ｈ26 5.4%）　　　　　　　　　　　＊Ⅲ度高血圧（Ｈ22 1.4%→　Ｈ26 0.8%）　　　　　　　　　　　　　　　　＊ＨｂＡ１ｃ6.1以上（Ｈ22 13.6%→Ｈ26 23.4%）　　　　　　　　　　　　　＊その他 尿蛋白治療なしの割合の低下など少しずつではあるが有所見率の低下が見られている。 |
| いきいきふれあい活動や特とく教室等を実施  ・ 食事・栄養の話　　15回実施  ・ 口腔の話　　　　　 21回実施  健康教育  ・介護予防及び認知症予防教室　　47回実施 | 高齢介護課  H26 |
| 園内の菜園の野菜作りを通して、食育への関心がでてき、野菜の成長過程を喜び、命あるものだと気づいた。嫌いな野菜も食べるようになった。 | 子育て支援課  Ｈ26 |
| 男女がともに参加しやすい生涯スポーツ推進体制の整備 | スポーツレクリエーションでは、スポーツ推進員の働きかけにより、たくさんの市民に参加を促した。 | 生涯学習課  H26 |
| **（２）教育・学習事業の推進** | あらゆる学習の場を通じた性と生命の教育の推進 | 全ての小学校において、性教育の年間指導計画を立て、その計画に基づいた指導を行った。また、生命の大切さを育むための指導計画を立て、教育活動全体を通した指導の充実も図っている。 | 教育総務課  H26 |
| ほとんどの学校で、性教育の授業を公開したり、「保健だより」あるいは「学校だより」等で広報を行ったりと､保護者への啓発も継続して行っている。 |
| 絵本や図鑑などで興味を高め、実際に小動物がいたときは保育士と一緒に飼育を楽しむことができた。　　　　　　　　　　　命を大切にする気持ちが芽生えつつある。 | 子育て支援課  Ｈ26 |
| 保育園や小学生の保護者及び教諭、また高校生を対象とした性や命の大切さに関する健康教育に講師として参加した。 | 保健予防課  Ｈ26 |
| 「性と生殖に関する健康/権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）」の理念についての啓発活動の推進 | 近年、深刻な社会問題になっているマタニティハラスメントを、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの視点から取り上げ、女性が働きながら産み育てやすい社会の実現が必要であることを啓発した。 | 人権啓発課  H26 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **施策の基本方向** | **主要施策** | **具体的な取り組み** | **平成２６年度の実施状況** | **担当課** |
| **２　子育て支援、高齢者などへの支援と暮らしやすい環境の整備** | **（１）安心して産み育てられる支援の充実** | 子育てに関する情報と学習機会の提供 | ・母子手帳交付時の学級で妊娠中の健康管理や産後の生活のイメージができるように座談会を行った。随時交付時に夫婦で来所される方もあり、個別に意識付けを行った。  ・子育てネットワークで実施されているプレパパ・プレママ学級への参加勧奨を行った。  ・育児学級時に夫婦で来所された場合は、座談会等で、父親が子育てに積極的に参加することの必要性について意識啓発を行った。 | 保健予防課  Ｈ26 |
| 父親の育児参加に対する意識が高まって、行事等への参加が増えた。 | 子育て支援課  Ｈ26 |
| 母子保健の充実と健康支援 | ・母親学級時に、早産や低出生体重児の予防、母親の将来の生活習慣病予防のために、妊娠中の健康管理の大切さについて健康教育を行った。  ・妊婦健診費用助成を14回補助（里帰り分娩にも対応）し、健診内容の充実や妊婦の経済的負担の軽減が図られた。妊婦健診受診結果を基にハイリスク妊婦を把握し、妊娠中の健康管理のみでなく、産後の糖尿病やCKD（慢性腎臓病）等の進展予防のため、保健指導・若人健診の受診勧奨を行った。  ・乳幼児健診等で必要時医療機関での精密検査の紹介や、関係機関と連携して親子の支援を行った。また親が子どもの発達段階に応じた子育てができるように家庭訪問や・乳幼児健診等を通して意識啓発をおこなった。  ・「こんにちは赤ちゃん事業」で産後うつの早期発見に努め、産後うつのケースについては必要に応じて医療機関の紹介や、継続支援を行った。 | 保健予防課  Ｈ26 |
| **（２）高齢者・障がい者、外国人等が安心して暮らせる環境の整備** | ｢自分らしく｣過ごせるライフスタイルの実現と健康支援 | ・生きがい活動支援通所事業　2月末実績　87回利用  ・たまな元気会の活動支援による協働で、各自治区でウオーキング、演芸会、料理教室等を企画、実践し住民による自主活動が活発化してきている。 | 高齢介護課  H26 |
| 高齢者の｢介護する方・される方｣双方の支援 | ①介護予防事業(2月現在)  ・いきいきふれあい活動　　94ヶ所  ・ゆたっ～と元気体操　　　　77ヶ所  ②、③　2月分までの実績  ・生活管理指導員派遣事業　277回  ・ふれあい生活支援事業　　　92回  ・食の自立支援事業　　4,091回  ・家族介護慰労事業　8件  ・外出支援サービス事業　　2,565　回  ・高齢者住宅改造助成事業　2件  ・緊急通報装置整備事業　　 1件 | 高齢介護課  H26 |
| 高齢者などの社会参画及び就業支援 | 巡回相談で就労に関わる相談が増えている。  相談支援事業所を通じて、支援を行っている。  また、障がい者就業支援連携強化事業により有明地域就労支援マップ等を作成した。 | 総合福祉課  Ｈ26 |
| インターネット、パソコンを使った写真加工、年賀状作成等講座を開催した。 | 高齢介護課  H26 |
| さまざまな困難を抱えている人々が安心して暮らせる環境の整備 | 広報誌・ホームページでダイバーシティを取り上げる際に、女性や高齢者、障害者、外国人、性的少数者等の人権を加味した。 | 人権啓発課  H26 |
| 男性のDV被害者の存在なども取り上げ、多様化・複雑化する社会に存在するさまざまなマイノリティの存在を可視化させ、人権意識の底上げを図った。 |
| さまざまな困難を抱えた相談者のプライバシーに配慮し、相談室などの環境整備を行った。 | 生活安全課  Ｈ26 |
| 認知症フォーラムや介護者のつどい、もの忘れ相談会、認知症サポータ養成講座等を開催し、多くの人が理解し、地域で助け合えるような取り組みを行った。 | 高齢介護課  H26 |
| 女性や災害弱者の視点を踏まえた防災分野における男女共同参画の推進 | 防災分野における男女共同参画の推進を目的に男女共同参画フォーラムを開催し、男性中心だった防災分野に女性やマイノリティの視点が必要であることを啓発できた。参加人数：220人 | 人権啓発課  Ｈ26 |
| 11月9日に玉名市総合防災訓練において災害時要援護者及びろう者の救助訓練を行った。障がいのある人の災害における救助等の難しさ、課題がわかり今後に生かしていきたい。 | 総合福祉課  Ｈ26 |
| ユニバーサルデザインに基づく都市施設の整備 | 道路新設・改良の際にはユニバーサルデザインを基本として実施した。 | 建設課  H26 |

**重点目標Ⅳ･･･　男女共同参画に関する推進体制の整備**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **施策の基本方向** | **主要施策** | **具体的な取り組み** | **平成２６年度の実施状況** | **担当課** |
| **１　男女共同参画推進体制の充実** | **（１）推進体制の整備** | 男女共同参画のための推進体制の整備 | 平成26年度は玉名市男女共同参画審議会を3回実施。審議会で出された意見を専門部会などで議題にして検討した。 | 人権啓発課  H26 |
| 平成26年度は行政推進委員会を2回、専門部会を4回実施。専門部会では各委員から男女共同参画の積極的な意見が出た。 | 人権啓発課  Ｈ26 |
| 男女共同参画計画の進行管理 | 各課から出された実績報告を取りまとめ、計画の進行管理を行った。 | 人権啓発課  H26 |
| 職員の能力向上と人材育成 | 自治大学校へ玉名市としては女性初の長期派遣を行った。今後も女性が長期間の研修に参加できるような職場環境の改善と意識改革が必要である。 | 人事課  Ｈ26 |
| 女性管理職候補者の育成が早急に必要であることを踏まえ、行政推進委員会において検討し、人事課に女性職員への研修開催を申し入れた。 | 人権啓発課  H26 |
| 総合的な相談体制の整備 | 1. H26年度件数）2月末 155 件 2. H26年度件数）2月末　591件 3. H26年度件数）2月末 366件   『無料法律相談』  ＜弁護士無料法律相談＞  毎月第2・第4水曜日開催  ＜司法書士無料法律相談＞  毎月第1・第3水曜日開催  (時間)　13：30～16：00  (場所)　消費生活センター  (相談件数)　１回30分　 5件 | 生活安全課  Ｈ26 |
| 相談支援事業所と協力しながら、当事者や家族の相談等に対応し、アドバイスやサービスの紹介等、支援を行った。 | 総合福祉課  Ｈ26 |
| 平成26年度婦人相談延べ件数218件(1月末)　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　警察、医療機関など関係機関を通じての相談も定着している。 | 子育て支援課  Ｈ26 |
| 包括センターとの月2回の定例会議やケアマネジャー等を対象とした研修会を実施した。 | 高齢介護課  H26 |
| 家庭訪問や健診・健康教育・関係機関の会議等で相談窓口や保健師・栄養士の地区担当性の周知を行った。  相談対応や専門技術等について研修受講や自己研鑽を行い、職員のスキルの向上を図った。随時、複雑な問題があるケース等、関係各課や関係機関等と丁寧に連携を図り、連携強化に努めた。 | 保健予防課Ｈ26 |
| 国、県、他市町村や各種団体との連携 | 地域連絡会議が玉名地域振興局で開催された。  また、熊本県民交流会館で県内市町村グループ別研修も開催され、近隣自治体や、行政規模の類似している県内自治体の担当者同士の意見交換等が行えた。 | 人権啓発課  H26 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **施策の基本方向** | **主要施策** | **具体的な取り組み** | **平成２６年度の実施状況** | **担当課** |
| **２　活動拠点施設の整備** | **（１）活動拠点の充実** | 男女共同参画センターの設置 | 男女共同参画センターの開設に関しては、総務部と企画経営部で今後調整していく。 | 人権啓発課  H26 |